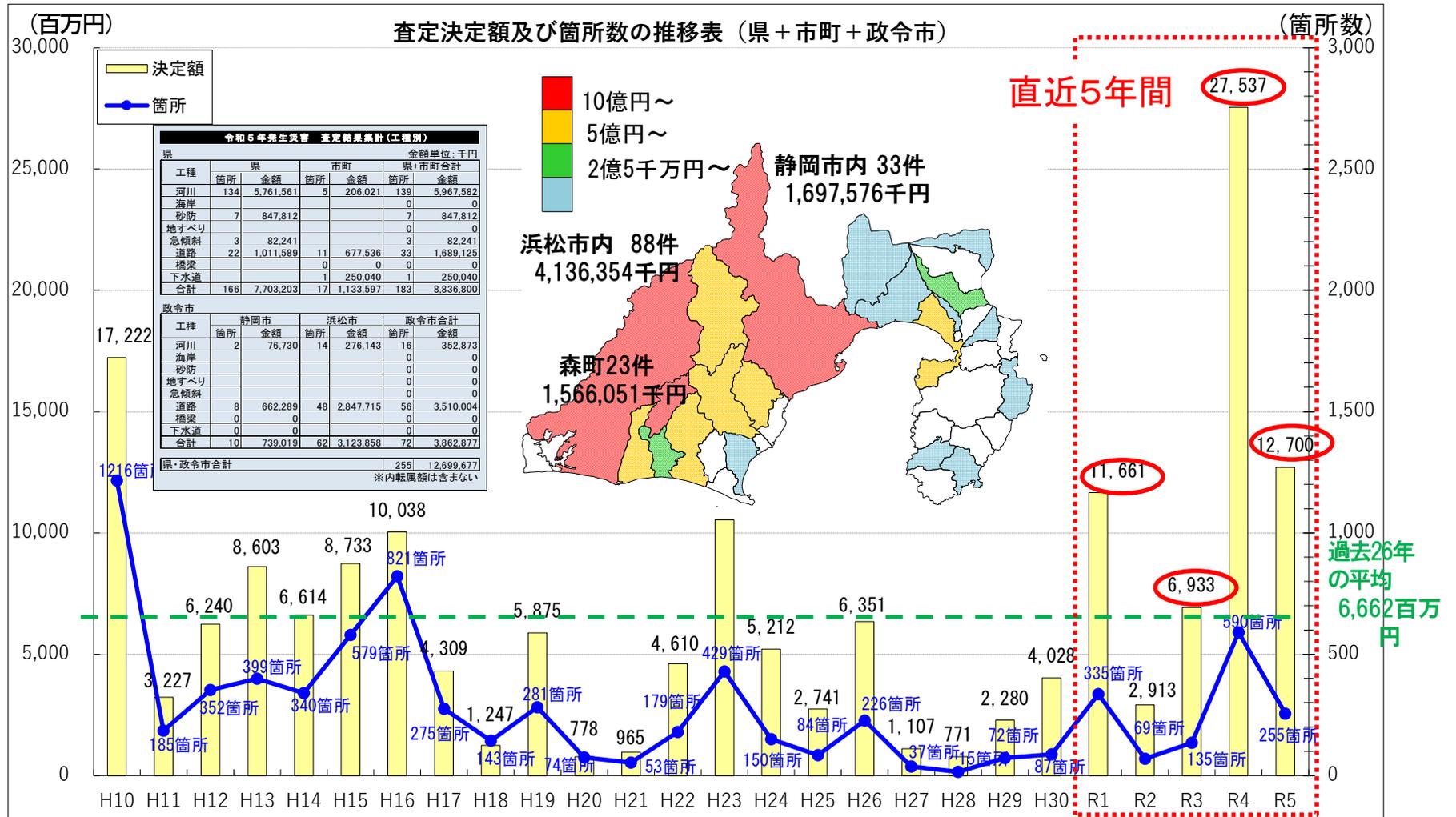


静岡県内の公共土木施設災害の推移 ～政令市及び市町含む～ 土木防災課所管

R5.6月の台風第2号など7回の異常気象で県、政令市及び市町が管理している河川、道路等の公共土木施設が被害を受けた。国土交通省及び財務省による災害査定が実施され**20市町、255箇所、約127億円**の査定決定を受けた。(港湾・漁港・公園除く)



※港湾、漁港、公園の災害を除く

令和5年台風第2号 ～主な県管理施設の災害～

県中西部を中心に、河川施設の被災が多数発生した。令和4年台風第15号により被災した箇所を増破も多数確認されており、磐田市の敷地川では令和4年台風第15号で破堤箇所を設置した仮設堤防が再度決壊し、周辺に大きな被害をもたらした。また、浜松市では大規模な地すべりが発生したほか、崩土や護岸崩壊により道路が寸断した。



至 袋井市街
(一)大河内森線(森町鍛冶島)



(一)白光川(島田市高熊)



(国)473号(本川根町久野脇)



(一)相俣岡部線(藤枝市岡部町岡部)



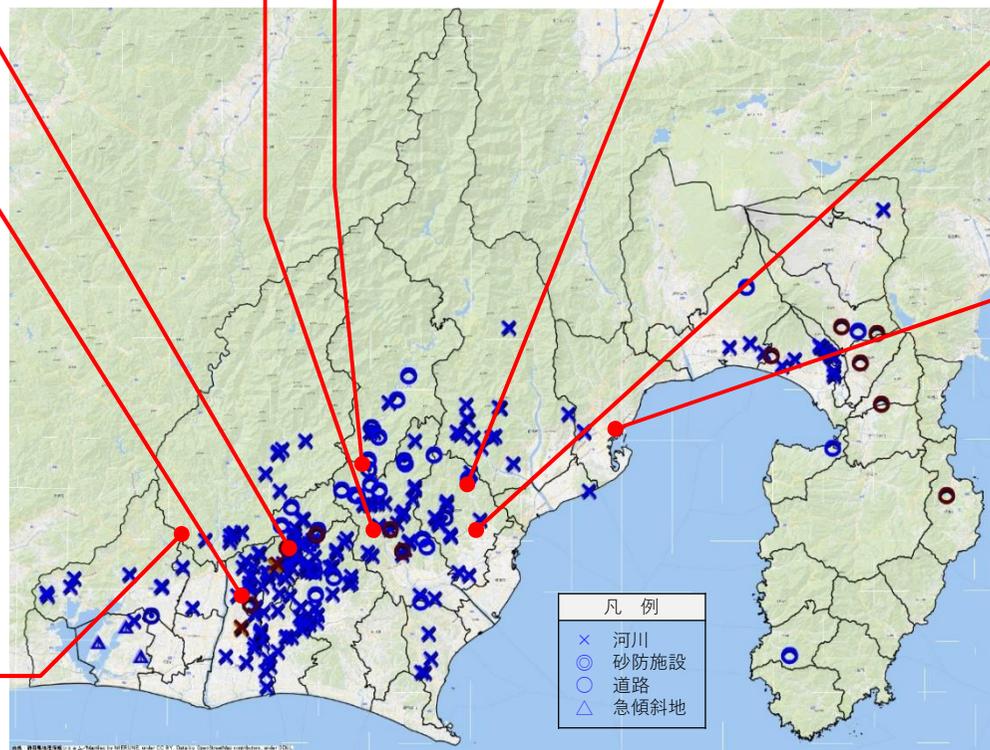
(二)朝比奈川(藤枝市岡部町宮島)



(二)敷地川(磐田市敷地)



長沢地すべり(浜松市天竜区長沢)



(二)庵原川(静岡市清水区草ヶ谷)

県管理施設別被災箇所数	
河川	127箇所
砂防施設	4箇所
急傾斜地崩壊防止施設	3箇所
道路	21箇所
港湾	2箇所
合計	157箇所